

# 遠賀川人と人

## 源流の地から10年 森 裕治氏



遠賀川源流の森づくり推進会議  
会長 森裕治氏

### 遠賀川源流の森づくり推進会議

まちづくりから  
始まつた活動

平成九年、嘉穂町（現嘉麻市）の諮問機関であった「まちづくり委員会」のメンバーの有志が集まり、住民の代表として町の将来像を描く過程で、遠賀川の源が嘉穂町に発足や林業の衰退で荒廃しつつ



ある水源地を人工林から広葉樹の森に戻すことで、水と緑の循環をケアしながら遠賀川の環境を総合的に改善できないかという思いで「遠賀川源流の森づくり推進会議」を発足されました。

「当初は、苗木を買う資金もなく、寄付をお願いにいろいろな所をまわりました。地元の方や企業はもちろん、下流

流域の漁協にまで足を運びました。遠賀川の源流点で行つた最初の植樹で、流域から五百人近いボランティアの方が集まつていただいた時の感動は今でも忘れません。」と会長の森さんは当時の様子を振り返ります。

### 流域の人々と

これまで植樹を行つた山は嬉しいですが、私たちの活動は全体から見ればミクロのレベルです。今後も根気強く活動を続けていきます。」と決意を新たにされています。

これまでの取り組みが高く評価され平成十八年の国土交通省「水資源功労賞」の受賞をはじめ数々の賞を受賞されていますが、「評価されるのは嬉しいですが、私たちの活動は全体から見ればミクロのレベルです。今後も根気強く活動を続けていきます。」と決意を新たにされています。



### ご案内

- P1 遠賀川人と人  
遠賀川源流の森づくり推進会議  
会長 森裕治氏
- P2~ いけいけチャレンジ遠賀川発表会  
小・中学校の児童・生徒
- P4~ 私たち川がだいすき  
サケの稚魚の放流や川での環境  
学習の取り組みの様子を紹介
- P7 遠賀川改修100周年  
記念シンポジウム  
「第3回ふくおか水もり自慢in柳川」

遠賀川流域だより

第004号  
2007・5・1

## 水巻町立 吉田小学校 4年生

### 堀川を生き物いっぱいのきれいな川にしよう



池田小学校のほたる館で遠賀川河川事務所の指導でほたるを育てました。2mmの目に見えないほどの大さでしたが、2cmの大きさに育ちました。ほたるの幼虫は自分と同じくらいのカワニナしか食べないので、カワニナを探すのが大変でした。5月には黒川で元気に飛んでほしいと願つて、ほたるの幼虫を放流しました。

## 北九州市立 池田小学校 3年生

### ゲンジボタルの飼育を通して



## 水巻町立 伊左座小学校 4年生

### 堀川の歴史を調べよう！(堀川カルタ)

堀川の歴史を学び、学習したことをもとに堀川カルタをつくりました。「車返しノミのあとが残ってる」「歴史が残る堀川」など堀川カルタを作りました。



昨年、先輩方が取り組んだ環境活動を受け継いで取り組みました。班毎にテーマを決めて彦山川の周りの環境を調べました。生き物では、北海道を除く日本全国に生息する、誰でもなじみ深いコサギがいます。青サギは日本一大きなサギで、色は灰色っぽい青色です。オオヨシキリは、ヨシ原において、ギョギョシギョギョシ、ケケケケと鳴きます。川を散策すると見ることができます。また、地元で活動する「ひこさんがわ夢の会」の皆さんとサケの放流やゴミ拾いをしてきました。これからも彦山川の環境を守っていきたいです。

## 福智町立 赤池中学校 1年生

### 彦山川周辺の自然について



堀川は昔の人々が大変な思いをして作られた川です。昔はとてもきれいな川だったそうです。今の堀川はとても汚れています。水の調査では、CODパックテストの結果、遠賀川の水は4mg/L、堀川の水は8mg/L以上となり、堀川の水は遠賀川の水より汚れていることが分かりました。堀川の水をきれいにしたいと、「堀川再生・五平太」のみなさんとEM発酵液やEM団子を作り、堀川に流しています。早く堀川を生き物がいっぱいのきれいな川にしていきたいです。

# 第3回いけいけチャレンジ！遠賀川発表会

## 直方市立 福地小学校 4年生

### ぼくのわたしの宝物・福地川



福地川がもっときれいな川になるために水の検査や上流・下流の水生生物調査を行いました。福地川がきれいになるためには、川をよごさないようにすることが大事です。

## 直方市立 直方第二中学校 2年生

### 遠賀川水辺館で3日間働いたこと



遠賀川水辺館で職場体験。春の小川で小学生と小川に住む生き物や水質調査をしました。水の流れを良くするために草を取りましたがなれない作業でとても大変でした。川をきれいにするように取り組んでいきたいです。

## 北九州市立 楠橋小学校 4年生

### 身近な川の生き物を調べよう



クラスの中で、川で遊んだことのある人は、52人中45人です。行った川は、黒川33人・笹尾川20人・遠賀川7人です。主な遊び方は魚釣り・水遊び・生き物探しです。ほたる教室では「香月・黒川ほたるを守る会」や遠賀川河川事務所の方に来ていただいて学習しました。川の生きものの調べやほたるの飼育をして、地域の川をもっと大切にしたいと思いました。ゴミを拾うことも大切ですが、ゴミを捨てないことがもっと大切です。川にいるたくさんの生き物をこれからもずっと守っていくためにきれいな川にしていくこと、そのためには一人ひとりの心がけが大切だと思いました。

昨年8月から3ヶ月間、毎週水曜日に5箇所の地点で水質調査を実施しました。水生生物の活動が弱るとされる数値を頻繁に確認しました。水質調査することで川が汚れていること、ゴミが多いことに気がつき、ゴミを拾う活動へと広がってきました。

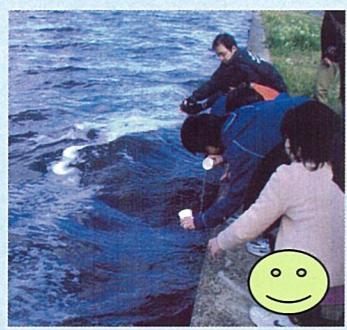


## 飯塚市立 二瀬中学校 1年生

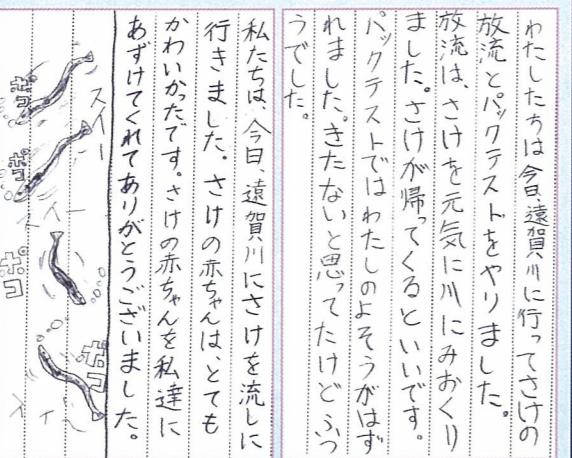
### 建花寺川の環境調査について



直方市の遠賀川水辺館で三月三日（土）、遠賀川などで見つけたこと、学んだこと、楽しかったことなど、環境学習に取り組んだ成果を発表する「いけいけチャレンジ！遠賀川」の発表会が八小中学校の児童・生徒の参加で行われた。会場は（主催 国土交通省遠賀川河川事務所）



**伊左座小学校 4年生**  
3月12日



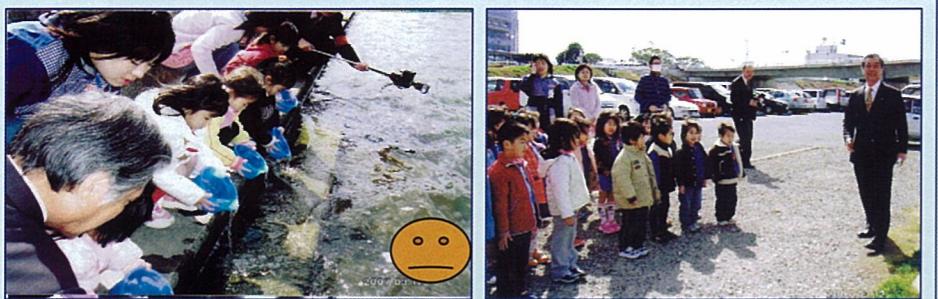
**水巻町 遠賀川大橋**

児童の感想文。児童全員が感想文を書きました。



**なかま三世代ふれあいの会 中間市 中間市役所前**  
3月12日

明願寺幼稚園の子どもたちと放流しました。



**いなつき環境フェスタ**

3月11日

**嘉麻市 いなつき親水公園**



「いなつき環境フェスタ」が嘉麻市稲築で開催され、青木宣人氏の講演などが催され、その後参加者でサケの稚魚を放流しました。



**花咲き商店街組合**

3月18日 岡垣町 えびつ駅付近

年4回清掃活動を実施。3月には、清掃活動後にサケの稚魚を放流しています。10年前はどぶ川と言われていたそうですが、5年ほど前から自然とほたるが飛ぶようになり、今ではほたる風景が見られるそうです。「組合員の矢矧川をきれいにしたい」という想いと、家庭から流される排水の浄化設備が整ったことできれいになってきた」と組合長さんは話されました。

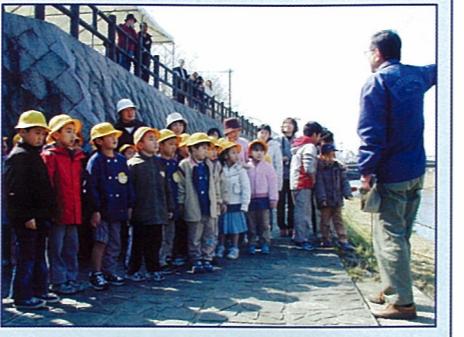
地道な活動がきれいな川をよみがえらせました。



**筑豊の水と環境を考える会**

3月17日 香春町 御殿橋

勾金保育園・香春保育園の児園や住民と放流しました。



# 私たち川がだいすき

いつのころからだろうか、川が遠くなかったのは。  
でも、子どもたちは川はだいすき。

川での環境学習やサケの稚魚の放流など、今年もたくさんの子どもたちが川と友達になりました。



**足白小学校 3~6年生**

3月7日

**嘉麻市 嘉穂水辺の楽校**

児童たちは、12月にサケの受精卵をいただき、えさやりや水かえをして大切に育ててきました。当日、青木宣人さんは「これからサケの稚魚は2ヶ月かけて遠賀川を下り、響灘（ひびきなだ）に

にでます。そして、海にでたサケは海流にのって海水温の低い日本海からアラスカ沖まで旅をします。ここで4年ほど暮し、産卵期が近づくと、サケは生まれ育った川にもどってきます。しかし、成長して再び川に戻ってるのは、ほんのひとにぎり。だから遠賀川に帰ったサケは神様として鮭神社に奉納されます。多くのサケが帰ってこれるように川をきれいにして待ちましょう」と話されました。

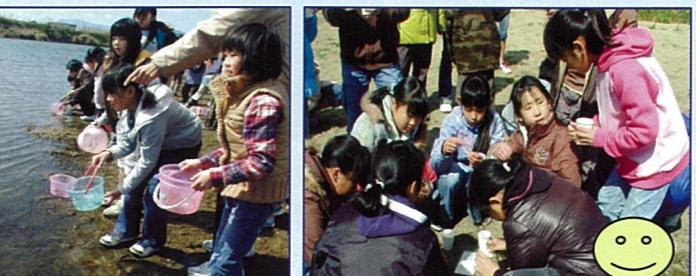
**香春小学校 2年生**

3月14日

**香春町 清瀬橋**



昨年12月、香春町を流れる金辺川の下流でサケの雌（めす）が発見されました。今回のサケの稚魚の放流では「筑豊の水や環境を考える会」や「田川ふるさと川づくり交流会」、地域の人々が子どもたちのサポートとして参加。サケが戻ることを子どもたちと共に願って放流しました。



**目尾小学校 全児童**  
3月12日  
飯塚市 鮎田大橋下流



**中泉小学校 3年生**

3月19日

**直方市 岡森橋**

とても寒い日でしたが、元気に帰ってくることを願って稚魚を放流しました。

「NPO法人遠賀川流域住民の会」では、毎年、遠賀川の源流の嘉麻市馬見で青木宣人氏（孵化・飼育アドバイザー）の指導で、サケの受精卵を孵化・飼育している。3月初旬に5~7cmに育ったサケの稚魚を放流。放流では、流域の学校や団体を対象に募集を行った。今年も約1万6千匹のサケの稚魚が大勢の人々によって旅たった。また、今年度より水質や川のまわりの様子を調べる「川の調査」も同時に実施している。（CODパックテストは下記の色分けで数値を表示）

きれい (0~3mg/L未満)

ややよごれている (3~6mg/L未満)

よごれている (6mg/L以上)

# 遠賀川改修事業100周年 記念シンポジウム開催



遠賀川改修期成同盟会  
向野敏昭会長

国に遠賀川の改修を要望する流域一八市町でつくる遠賀川改修期成同盟会の主催で開催された「遠賀川改修事業百周年記念シンポジウム」。向野敏昭会長が「日ごろ国の治水工事や環境に配慮した川づくりが行われてきている事に感謝している。」とあいさつ。第一部では、足立辰夫遠賀川河川事務所副所長が「改修百年の経過報告」として、石炭と共に歩んできた遠賀川の歴史を報告。

安全な川づくりのために、明治三十九年（一九〇六年）から国により改修事業が始められた遠賀川は、平成一八年四月（二〇〇六年）で改修百周年を迎えた。これを機会に遠賀川の歩みを振り返りながら、未来に向けての安全で豊かな川づくりやまちづくりについて一緒に考えようと「遠賀川改修百周年記念シンポジウム」が三月四日、直方市の遠賀川河敷で開催、流域住民や関係自治体の約二百五十人が集い百周年を祝った。

第二部では、松木洋忠遠賀川河川事務所所長が「遠賀川の山の国と湖の国」をテーマに記念講演が開催され、「遠賀川河口は神話時代の国内最大規模の干潟で、その特別な土地を『大きな干潟』『オオガタ』が『遠賀』の語源である」など、遠賀川流域のそれぞれの地域が有する歴史を分かりやすく話された。

第三部では若いお母さんによる座談会。合原由紀子さん（田川市）、藤崎さゆりさん（水巻町）、松本律子さん（小竹町）真澄香さん（宮若市）、榎敏江さん（飯塚市）が参加され、松木所長を座長に、「子どもたちに贈る次世代の遠賀川」をテーマに話し合われた。



次世代を担う子どもたちを育てるお母さん方が、これからの川づくりについて話し合われた。



記念100周年を記念して植樹が行われた。

「河川敷では子どもたちはよく遊び場となつて、子どもにとつては遊びにくくなつていて。遠賀川はいつの間にか大人の遊び場となつて、子どもにとつては遊びにくくなつていて。遠賀川がきれいになつてきているように思う。」「水辺館のめだかの学校に通つていて。子どもがいろいろな事を学び体験して

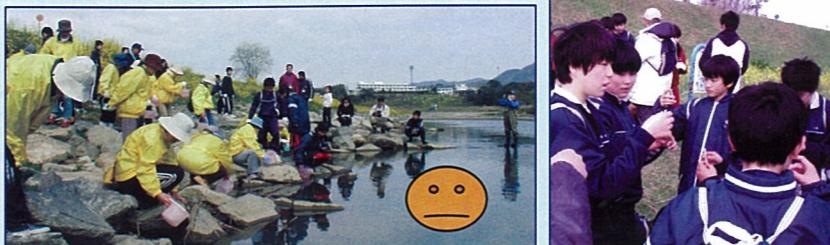
花を摘んで遊んでいるが水辺までは行けない。ひざまでつかつて遊べるとよい。」「鳥や釣り人も見られるようになつた。遠賀川がきれいになつてきているように思つ。」「水辺館のめだかの学校に通つていて。子どもがいろいろな事を学び体験して

いる。教えられることも多い。体験の場が必要。「学校では4年生で環境問題や川をきれいにしようという学習をしている。4年生になると必ず学習するので子どもたちが変わっていく。子どもの体験を通して親が学ぶことが多い。「炭を使って家庭から流される水を浄化する取り組みを祖母がしているので家庭でもやつていて。きれいにして流すことが大切。」など意見が寄せられた。

## 赤池中学校1年生

3月17日 福智町 市場小学校前

「ひこさんがわ夢の会」の皆さんと河川敷のゴミ拾い、きれいになった彦山川で遠賀川河川事務所河川環境課の皆さんと水質調査を行いました。その後、サケの稚魚を放流しました。



どんぐりやメダカ、イネの成長、遠賀川の水質や植生の変化について、定期的に観察する「めだかの学校」。生きものの成長を追いかねばならぬの大切、自然環境について学んでいます。2月17日（土）柳川で開催された「第3回ふくおか水もり自慢！in柳川」で、これまでの取り組みを発表しました。



めだかの学校  
直方市 遠賀川水辺館

## 遠賀川源流の森づくり推進会議

3月25日 嘉麻市 嘉穂水辺の楽校

嘉麻市の遠賀川源流の森で植樹をした皆さんと嘉穂水辺の楽校でサケの稚魚の放流と川の水質調査を行いました。水質調査では参加団体が調べた結果、前日が雨のため数値が異なった結果となりました。平均数値で表しています。



めだかの楽校in金田 2月18日 金田町  
田川ふるさと川づくり交流会

田川ふるさと川づくり交流会は金田小学校4年生を対象に「めだかの楽校」を開校。1時間目は遠賀川河川事務所河川環境課の大月専門員を講師に「身近な川の水質調査」などを体験。2時間目は子どもたちがこれまでに描いてきた「川への思い」のポスターの表彰式が行われました。父兄参観日とも重なって、子どもたちの想いがお父さんやお母さんに伝わったのではないでしょうか。



…私たちも川が大好きな子どもたちを応援します…  
国土交通省 遠賀川河川事務所 河川環境課

「流れる水のはたらき(5年生の理科)」を学ぶ「流水模型」を作りました。また、「川の水環境調査」など、学校の総合学習や各団体の身近な川を調査する水質調査や水生生物調査などのお手伝いを致します。ご連絡下さい。問い合わせ先 TEL:0949-22-1830



# 第3回ふくおか水もり自慢！in柳川



「と一ても気持ちが良い！緩やかな河川敷ができた！」でコーディネーター特別賞を受賞したNPO法人直方川づくりの会&国土交通省遠賀川河川事務所直方出張所の皆さん。

上記写真は生まれ変わった直方市役所前河川敷。



堀川再生の会・五平太の皆さんは「奪われし未来より甦る未来へ」をテーマに発表みごとベストパフォーマンス賞を受賞。



「川づくり・人づくり」をテーマに「ダガッパ学校」の取り組みを発表した田川ふるさと川づくり交流会の皆さん。



「環境ボランティア活動の課題」と題して発表した近畿大学産業理工学部内環境ボランティアの学生の皆さんのがポスターセッションでアピール。

## 遠賀川流域だより

発行 國土交通省遠賀川河川事務所  
住所 直方市溝堀1丁目1-1  
電話 (0949)22-1830  
<http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>  
NPO法人遠賀川流域住民の会  
<http://www.onagawa.jp/>



「ふくおか水もり自慢」は福岡県内で「水」や「森」に関わる活動をしている団体が、一堂に会し、交流や行政と市民団体のパートナーシップを促進するとともに、他の団体の活動状況や手法を学び、今後の活動の糧にと開催されたもので、平成十九年二月十七日（土）一八日（日）柳川市総合保健福祉センター「水の郷」で「ふくおか水もり自慢！実行委員会」の主催で行われた。「知恵」と「勇気」と「希望」と「元気」を与えてくれた発表者の中、遠賀川流域の人々の元気な姿があつた。



たくさんの学生の発表やボランティアで会場は活気であふれていた。中央、青少年博物学会(YNHC)の皆さんも発表された。



# 声

平成19年4月から岡垣町ではプラスチック製容器包装も資源ゴミとして回収している。また、公共施設やほとんどの店舗で、拠点回収資源物（ペットボトル・紙パック・食品トレー）を入れる回収ボックスが設置され、住民に利用されているという。また、町役場や小学校でも乾電池の回収ボックスが置かれている。岡垣町の環境共生課生活環境係に尋ねると、「この回収ボックスがないとゴミはあふれるでしょう」と話された。

遠賀川下流の市町村では、岡垣町以外でも、中間市水巻町・芦屋町・遠賀町で回収ボックスが設置され、住民が利用しているという。